

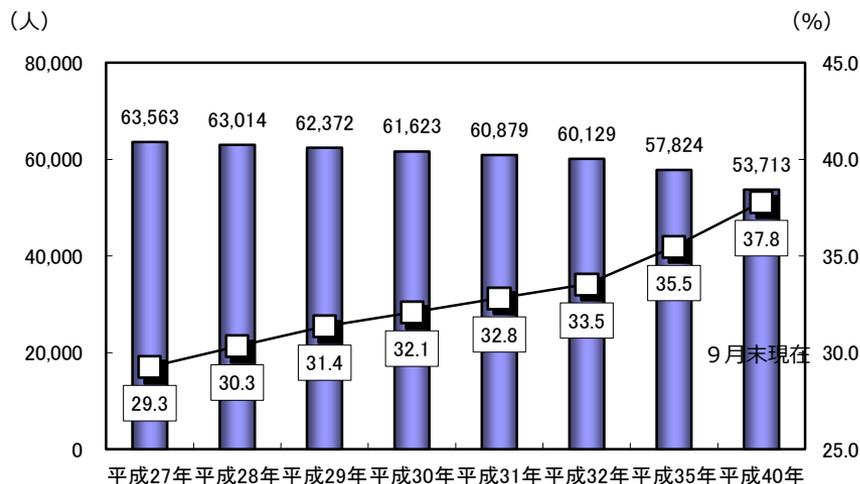
# 十和田市における 認知症高齢者等見守り 事業について

青森県 十和田市

## ▶ 1. 高齢化の現状と今後の見通し、管内の特徴

(H30.3月末時点)

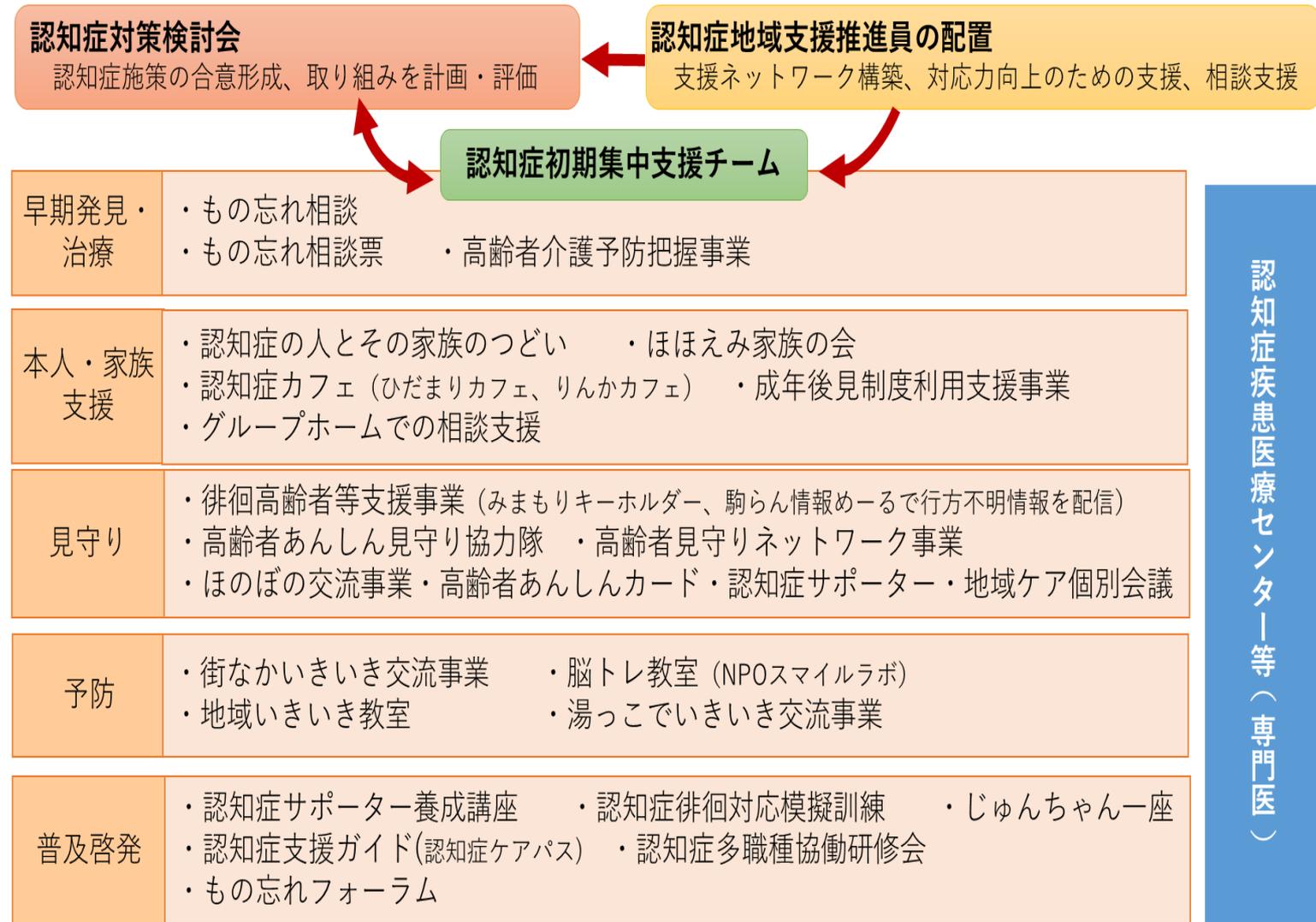
人口	61,857人	面積	725.67km <sup>2</sup>
地域特性	<p>平成17年1月1日に十和田市と旧十和田湖町が合併してできた現・十和田市は、青森県の南東部中央に位置し、西半分は山地と原野が広がり、東半分は台地と農地と市街地で形成しています。産業は農業が中心で、稲作のほか、にんにく・ごぼう・ねぎ・ながいもなどミネラル野菜に力を入れています。公共交通機関はバスのみで、利用者の減少とともにバスの本数が少ない為、高齢者が不便を感じているのが現状です。平成30年4月からは、市内3圏域にそれぞれ地域包括支援センターが開設（委託）され、より地域に根ざした支援体制がスタートしました。</p>		
65歳以上人口	19,672人（再掲：75歳以上 9,631人）	高齢化率	31.8%
要介護認定者数	3,297人 ※要支援 405人 要介護 2,892人	認知症高齢者数	2,138人 ※認知症高齢者の日常生活自立度判定基準Ⅱ～Ⅴ



総人口は今後も減少する一方、高齢化率は上昇し、平成37年は36.5%、平成40年には37.8%と予測されます。

総世帯数及び高齢者世帯の推移をみると、平成24年から平成29年までの総世帯数は390世帯の増加、高齢者世帯は1,901世帯の増加であり、高齢者のみまたは高齢者単身世帯が増加してきている状況です。

## ▶ 2. 「認知症」のかたや家族を支える事業や取り組み



認知症疾患医療センター等（専門医）

## 認知症地域支援推進員の活動内容

### ① 認知症対応力向上の推進

- 認知症サポーター養成講座の調整及び実施
- 認知症高齢者徘徊対応模擬訓練の調整
- 「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン」の周知
- 研修会等の関係機関への情報提供

### ② 在宅生活継続のための相談・支援

- 地域包括支援センターの推進員との連絡調整
- 認知症初期集中支援チームとの情報共有
- 市内12箇所のグループホームへの相談協力依頼と連携

### ③ 家族に対する支援事業

- 徘徊高齢者等支援事業の普及と実施、関係機関の調整

### ④ 多職種協働研修（企画・開催）

- H28年度 自動車運転・免許更新の問題等について
- H29年度 十和田市の高齢者の見守り支援
- H30年度 認知症の人・家族支援について(案)  
(認知症カフェ、ほほえみ家族の会、認知症を抱える家族のつどい等の活動発表)

### ▶ 3. 認知症の人の見守り体制

(H30.3末時点)

## 認知症高齢者等を見守るわ

セーフコミュニティ十和田

高齢者見守りネットワーク事業：市民、市内全域

高齢者あんしん見守り協力隊：167団体

認知症サポーター：約8,600人

徘徊高齢者等支援事業  
登録者：39人  
メール配信登録者：約2,500人



地域ケア個別会議

高齢者あんしんカード  
配付数：約2,500人

ほのぼの交流事業

## 認知症高齢者等を見守るわ ①

事業名	概要、経緯、効果
高齢者見守りネットワーク事業 (H20年頃～)	<p>【概要】 地域を巡回している新聞配達員が、通常行っている業務の範囲で高齢者宅を訪問。声かけをして安否確認を行うとともに、異変を察知した場合は速やかに市または関係機関につなぐ。</p> <p>【経緯】 見守りが必要な在宅の高齢者を地域全体で支えるしくみが必要。</p> <p>【効果】 迅速な発見、連絡により、緊急時の初動期対応がスムーズに行えるようになった。</p>
「高齢者あんしん見守り協力隊」 (H25年～)	<p>【概要】 日頃の生活や仕事の中で、高齢者を見守る団体が登録し、異変を発見したら、地域包括支援センターにつなぐ。</p> <p>【経緯】 日常生活や業務の中で、高齢者に関心を寄せてもらうことで、緊急事態や気がかりな状態で早期に発見できるしくみが必要である。</p> <p>【効果】 見守り支援を行う関係機関が増え、SOSを出すことが難しい高齢者の情報が早期につながり、支援につながるようになった。</p>

## 十和田市高齢者あんしん見守り協力隊登録事業所

介護施設、金融機関、宅配業者、ガス会社、薬局など167団体が協力

(H30.3月末時点)

### 見守り

高齢者見守り  
ネットワーク  
が見守り支援  
しています！

### 高齢者あんしん見守り協力隊 についてご紹介します。

十和田市では、だれもが住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるように、高齢者の緊急事態や気がかりなときに、適切にそしてすみやかに対応するしくみ「高齢者見守りネットワーク」づくりに取り組んでいます。

日常生活や業務の中で、高齢者の方に関心をもせていただき、みんなで見守りをしていきたいと思います。

#### 1. 高齢者見守りネットワークとは

☆市民の方、関係団体、関係機関が相互に連携・協力して地域の高齢者を見守りしくみです。

#### 2. あんしん見守り協力隊として登録できるのは

☆町内会や民生委員、老人クラブ、保健協力員会等の地域で活動する団体や組織  
☆本事業の主旨に賛同する民間事業所や商店街

#### 3. 具体的に何をしますの？

☆「あんしん見守りガイド」を活用し、地域の高齢者の様子から「新聞や牛乳がたまっている」「最近元気がない」などちょっとした異変に気づいたときに、地域包括支援センターに連絡をします。

☆業務に支障のない程度に高齢者へ関心を寄せ、声かけをするよう勤めましょう。

#### 4. 登録するには？

☆申請書を十和田市高齢介護課へ提出してください。

#### 5. 周知関係

☆登録された見守り協力隊は、市のホームページでお知らせします。

☆登録証他見守り隊啓発普及品をお渡しします。



### 高齢者あんしんカードをご存知ですか

高齢者や障害者のかたが病気や事故などにより緊急対応が必要となったときに、身元や緊急連絡先を速やかに確認できるカードです。希望者に配布しておりますので、市役所高齢介護課、地域包括支援センター、在宅介護支援センターにお尋ねください。

※カードは必要事項を自分で記入し、財布など携帯できるものの中に入れて、持ち歩いて利用するものです。



私の名前 \_\_\_\_\_  
私の住所 \_\_\_\_\_  
電話番号 \_\_\_\_\_  
緊急連絡先  
・名前 \_\_\_\_\_  
・電話番号 \_\_\_\_\_

### 見守り

#### 十和田市高齢者あんしん見守り協力隊登録事業所一覧 平成29年12月末現在 合計147団体

稲生町	西一番町～西二十四番町	三本木
ニチケアセンター十和田	竹島整骨院	狭バیتالネット 十和田支店
櫻田整骨院	日本郵便 十和田郵便局	特別養護老人ホーム 雙葉苑
十和田市タクシー協会	岡新聞店	在宅介護支援センターみちのく苑
十和田市七・八丁目商店街振興組合	第一生命保険 十和田営業オフィス	介護老人保健施設 みちのく苑
特定非営利活動法人 生きがい十和田 Life shop みやざき	山本薬局	在宅介護支援センターみちのく苑 居宅介護支援事業所
㈱ 相坂屋	㈱八甲タクシー	ひがし調剤薬局
十和田市中央商店街振興組合	みんな野薬局	吾郷町内会
十和田 NPO 子どもセンター・ハビタの	㈱大成 十和田中央薬局西店	デーリー東北十和田南専売所
十和田観光電鉄株	田中整骨院	㈱スーパーカケモ 西金崎店
十和田市老人クラブ連合会	㈱スーパーカケモ 切田通り店	カケモとくし丸1号
鈴木整骨院	岡野整骨院	ほたる接骨院
	森接骨院	吾郷見守りたい
	ひまわり調剤薬局	青い森ケアうるおい
	ツルハドラッグ 十和田店	七郷やませクラブ
	ブルーホーム らいぶ	
	十和田市食生活改善推進員会	
	(公) 認知症の人と家族の会 十和田地区	
	㈱十和田ビルサービス	
穂並町	東一番町～東二十四番町	切田
㈱ユニバース パワーズU十和田店	㈱ユニバース ユニバース東店	社会福祉法人 福祉の里
㈱丸サクラ薬局 ハッピードラッグ穂並町店	㈱小笠原新聞店	老人保健施設 みちのく苑
スーパーカケモ本部	生活協同組合とわだ	グループホーム ふるさと十和田
	十和田タクシー㈱	十和田ホームヘルパーセンター
	あい薬局 東三番町店	十和田訪問看護ステーション
	デイサービスセンター 白菊苑	
	移動スーパーとくし丸2号	
	佐々木柔道整復院	
	ヤクルト十和田センター	
	青森県柔道整復師会十和田地区	
	南大柳新聞店	
	㈱大成 十和田中央薬局	
	ザワカ薬局 東店	
	㈱三本木燃料	
	スーパーカケモ 三小通り店	
	みちのくホームヘルパーステーション	
	訪問看護ステーションみちのく	
	ホームヘルパーステーションすずらん	
	ホームヘルパーステーションたんぼぼ	
	㈱南山アイリーサービス十和田店	
	とまへち整骨院	
	トコス整骨院	
穂坂	元町西	米田
ENEOS グローブエナジー㈱	十和田石油株	
グループホーム きゃんぱす	福祉の里 アネックス元町	
居宅介護支援事業所 きゃんぱす	十和田訪問入浴サービスセンター	
デイサービスセンター きゃんぱす	十和田テクノエイドサービス	
在宅介護支援センター ハートランド		
在宅介護支援センターハートランド 居宅介護支援事業所		
介護老人保健施設 ハートランド		
介護老人保健施設ハートランド デイケアセンター		
介護老人保健施設ハートランド 訪問入浴介護		
からだ元気治療院 十和田店		
イオンスーパーセンター十和田店		
相坂	元町東	沢田
ENEOS グローブエナジー㈱	丸九大サクラ薬局 ハッピードラッグ十和田店	
グループホーム きゃんぱす		
居宅介護支援事業所 きゃんぱす		
介護老人保健施設とわだ		
訪問介護 介護老人保健施設とわだ		
訪問リハビリテーション		
介護老人保健施設とわだ 短期入所療養介護		
介護老人保健施設とわだ 居宅介護支援事業所		
洞内松竹会		
赤沼	大沢田	奥瀬
十和田ガス株	生活協同組合コアあおり	ササキ石版売
		グループホーム らっこ
		特別養護老人ホーム 湖楽園
		在宅介護支援センター 湖楽園
		デイサービスセンター 湖楽園
		訪問介護事業所 湖楽園
		福田整骨院
		在宅介護支援センター おいらせ
		デイサービスセンター おいらせ
		ヘルパーステーション おいらせ
		グループホーム おいらせ
青森市	洞内	青森市
明治安田生命青森支社	ヤマト運輸 十和田支店	
	㈱ケアライフ青森 十和田営業所	
	洞内町内会	
	在宅介護支援センター 老健とわだ	
	とわだ訪問介護	
	介護老人保健施設とわだ	
	介護老人保健施設とわだ 訪問リハビリテーション	
	介護老人保健施設とわだ 短期入所療養介護	
	介護老人保健施設とわだ 居宅介護支援事業所	
	洞内松竹会	
赤沼	洞内	青森市
十和田ガス株	ヤマト運輸 十和田支店	明治安田生命青森支社
	㈱ケアライフ青森 十和田営業所	
	洞内町内会	
	在宅介護支援センター 老健とわだ	
	とわだ訪問介護	
	介護老人保健施設とわだ	
	介護老人保健施設とわだ 訪問リハビリテーション	
	介護老人保健施設とわだ 短期入所療養介護	
	介護老人保健施設とわだ 居宅介護支援事業所	
	洞内松竹会	

## 十和田市高齢者あんしん見守り協力隊

「あんしん見守りガイド」を活用し、地域の高齢者の様子から「新聞や牛乳がたまっている」「最近元気がない」などちょっとした異変に気付いたときに、地域包括支援センターに連絡をします。

### 《あんしん見守りガイド》



## 認知症高齢者等を見守るわ ②

事業名	概要、経緯、効果
認知症サポーター	<p>【概要】 認知症サポーター養成講座等を受講した人たちが、オレンジリングをつけ、自分の生活の中でできる範囲の見守りと、必要時相談機関につなぐ。</p> <p>【経緯】 制度としての見守りではなく、暮らしている地域で自然体の見守りができる地域を作っていく必要がある。</p>

### ○認知症サポーター等養成講座

平成30年6月末現在 実施状況、351回、修了者数8,615名

⇒ フォローアップ研修や認知症高齢者徘徊対応模擬訓練などの協力を呼びかけを実施し、サポーターを次に繋げる取り組みを実施している。

### ○認知症カフェの設置状況 2カ所（ひだまりカフェ、りんかカフェ）

⇒ 今後、サポーターをボランティアとして活用していきたい。

## 認知症高齢者等を見守るわ ③

事業名	概要、経緯、効果
徘徊高齢者等支援事業 (H29年～)	<p><b>【概要】</b></p> <p>(1) 事前登録 対象者の情報を申請により高齢介護課で登録し、あらかじめ警察へ情報を提供しておくことで徘徊時の保護者等への連絡を円滑に行う。高齢者には、見守りキーホルダーを身に付けてもらう。</p> <p>(2) 行方不明情報発信 氏名・性別・年齢・行方不明日時・行方不明時の状況・身体的特徴等を配信し、早期発見につなげる。駒らん情報めーるで情報配信。</p> <p><b>【経緯】</b></p> <p>徘徊高齢者等が警察に保護された場合に、身元の確認が困難で時間がかかり、本人及び保護者等の負担が大きい。また、行方不明の高齢者等が発生した際、市民からの情報提供を仰ぐことが困難である。</p> <p><b>【効果】</b></p> <p>行方不明時において、発見・保護時の早期の身元特定を容易にし、市民等への情報発信により、協力を仰ぎ、保護者等のもとへ早く帰宅できるようになった。また、警察、包括支援センター、市との連携がスムーズになった。</p>

## 徘徊高齢者等支援事業

自宅に戻れなくなるおそれのある高齢者等の情報をあらかじめ登録する「事前登録」と、行方不明になった際に情報提供を呼び掛ける「駒らん情報めーる配信」を実施することで、徘徊高齢者の早期発見・保護や、徘徊高齢者の発見・保護時の身元特定を容易にし、ご本人及び保護者の方の負担軽減が可能となりました。

### 《駒らん情報メール》

■十和田市徘徊高齢者等支援事業■

**徘徊 が心配な方・・・**  
事前登録をおすすめします。

認知症による徘徊高齢者が行方不明になったり、事故に遭うなどの事例が増えています。長い時間道に迷っていると、体力が消耗し衰弱したり、熱中症などによる脱水、転倒による骨折、交通事故で命にかかわる危険があります。また、行方不明になってから時間が経つほど発見が困難になる場合があるので、早期に発見、保護することが重要です。

**「事前登録」とは、**  
徘徊高齢者等の情報を登録しておくことで、保護された時に身元の確認が早くできます。

**＜登録時、持参するもの＞**

- 申請者の認め印
- 登録者の介護保険証等、本人確認できるもの
- 登録者の最近の写真

対象登録者 ・認知症等により徘徊するおそれのある65歳以上の方  
・若年性認知症等の方

登録者の情報と写真を十和田警察署(生活安全課)に情報提供します。

登録番号が記載された「みまもりキーホルダー」をさしあげます。

もし、**行方不明になったら...**

すぐに十和田警察署に届けましょう！ ☎23-3195

十和田市「駒らん情報めーる」で行方不明情報を配信できます。

市民の方へ発見・保護協力を依頼します。

お問い合わせ先：十和田市役所 高齢介護課 0176-51-6722

**駒らん情報めーるを登録しましょう！**

■市民のみなさんへ■

警察に行方不明の届出があった場合、行方不明となった高齢者等の特徴などの情報を「駒らん情報めーる」で配信します。  
みなさんが登録することで、地域ぐるみで早期発見、保護につながります。地域の高齢者の見守りをみなでしましょう。

「駒らん情報めーる」とは、十和田市のイベント情報、災害時の避難所の情報、気象情報などを登録者の携帯やパソコンにメール配信するサービスです。

【登録方法（登録無料）】

- 右記 QR コードを読み取り、空メールを送信してください。または [anzenjoho@info-towada.jp](mailto:anzenjoho@info-towada.jp) に空メールを送信してください。
- 登録案内メールが届きますので、案内にしたがって登録してください。
- 「行方不明者」のカテゴリーにチェックが入っているか確認してください。

※メールが届かない場合は、info-towada.jp のドメインが受信拒否になっている場合があります。解除してからはじめてください。わからない時は携帯電話会社にお尋ねください。

**＜配信される内容＞**

**行方不明者情報**  
お心当たりのある方は、十和田警察署まで

**◆◆行方不明者の状況◆◆**  
氏名 性別 年齢  
行方不明日時  
行方不明時の状況  
身長・体型・服装・その他  
【連絡先】 十和田警察署 0176-23-3195  
【発信元】 十和田市高齢介護課

**◆◆行方不明者の状況◆◆**  
十和田 花子さん（85歳）女性  
平成29年3月3日 夕方4時頃、買い物に行くとき自宅を出たきり、戻ってこない。  
・身長 145cm やせ形  
・茶色の上着にグレーのズボン  
・眼鏡をかけている

**気になる人への声のかけ方**  
・ゆっくりと近づいて、相手の視野にはいって、ゆっくりと声をかけてください。（大声だとびっくりします）  
・声かけは「こんにちは」「暑いですね」など、ごく普通のあいさつから。  
・わかりやすい簡単な言葉で、一つずつ話しかける。  
・声をかけてもうまくいかない場合は、いったん離れて、近所の他の人に助けを求めてください。

※行方不明者のメール配信時間は8:30から20:00まで

お問い合わせ先：十和田市役所 高齢介護課 0176-51-6722

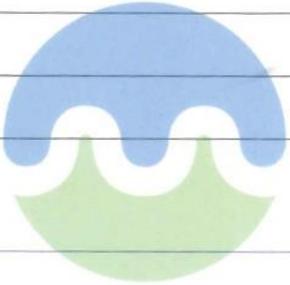
## 認知症高齢者等を見守るわ④

事業名	概要、経緯、効果
高齢者あんしんカード	<p>【概要】 高齢者や障害者のかたが病気や事故などにより緊急対応が必要となった時に、身元や緊急連絡先を速やかに確認できる名刺サイズの携帯用カードで、希望者に配布。（H30年度は約17,000枚印刷し、高齢者全員に配布予定）</p> <p>【経緯】 緊急対応時に身元が判明できるもの（運転免許証や保険証等）を所持していない高齢者も多く、緊急時対応に時間を要していた。</p> <p>【効果】 速やかに緊急連絡先が判明し、緊急対応必要時に迅速な対応ができるようになった。</p>

### 《高齢者あんしんカード》



私の名前	_____
私の住所	_____
電話番号	_____
緊急連絡先	_____
・名前	_____
・電話番号	_____



## 認知症高齢者等を見守るわ ⑤

事業名	概要、経緯、効果
ほのぼの交流事業	<p>【概要】 独居高齢者で希望者を対象に、ほのぼの交流員が定期的に見守り支援を行う。</p> <p>【経緯】 見守り体制を強化することで、地域とのつながりが必要とされる方が、地域の中で安心して暮らせるような社会を構築するために実施。</p> <p>【効果】 訪問・交流等により対象者の孤独感や不安の解消が図られ、安心して暮らせる環境づくりができた。</p>
地域ケア個別会議	<p>【概要】 町内会単位で、地域住民・包括支援センター・在宅介護支援センター・介護保険事業所・民生委員・町内会長等が参加し、認知症の方の事例を用いて、個人の課題、地域の課題、公的制度の理解、自分たちができること、普段から自分自身も取り組みこと等を検討。</p> <p>【経緯】 自分のこととしてとらえる市民が増えることで見守り体制への理解が深まるために実施。</p> <p>【効果】 日常的に、地域の中でのコミュニケーションやちょっとした関心で見守れることがある、気づいたらつなぐ場所があるということを理解してもらう機会となっている。</p>

## ▶ 4. 事業実施の課題・ポイント

- 地域住民へ事業の周知
- 支援や見守りを受ける側の意識の改革
- 登録制度のものについては、情報の更新体制

## ▶ 5. 今後の展望

認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）と整合性を図りながら、当事者の視点を重視した企画・評価等の取り組みを進め、総合的に認知症施策を推進していきます。

1. 医療機関や介護保険事業者・家族の会などの支援機関をつなぐ連携支援
2. 認知症の人やその家族を支援する相談体制の充実を図り、早期の支援
3. 認知症になってもできる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、認知症の人や家族への見守り支援の充実
4. 市民の認知症に対する理解と協力が得られるよう普及啓発

## じゅんちゃん一座

市立病院精神科医を座長とした一座

方言やユーモアを交え、認知症について正しい知識や対応方法をわかりやすく伝える活動をしています。

## もの忘れフォーラム

10年ほど続く認知症に関する市民への普及啓発のフォーラム

市民文化センターを会場にし、平成30年度は、参加者が900人を超えるまでに成長しました。

## 認知症徘徊対応模擬訓練

- 平成29年度は、場所と日にちを変え、3回実施。
- 参加者は、高齢者見守り協力隊や民生・児童委員、市民など約200人。
- 認知症に関する基礎知識、119番通報の手順を学んだあと、実際に、中央商店街の街なか市場とアーケード街、銀行などで模擬訓練を行いました。

